

部活動の地域連携・地域移行に向けて考えられる主な方策と課題

～地域連携～

※運営団体：学校や教育委員会

方策①

- ・ 合同部活動の拡大・拡充、拠点校方式の活動実施

課題①

- ・ 生徒の移動手段（自転車利用の許可、保管場所）
- ・ 活動場所
- ・ 合同部活動による、試合や大会への出場選手の限定(出場機会の平等)
- ・ 合同部活動を指導する指導員の確保

方策②

- ・ 部活動指導員、中学校部活動外部指導員の配置拡充

課題②

- ・ 専門的人材を確保すること
- ・ 必要な部活動に必要な人材を配置すること

方策③

- ・ 地域団体（スポーツ協会や文化協会）との連携による指導者の派遣

課題③

- ・ 学校部活動としての教育的意義の継承
- ・ 専門的指導員としての量の確保
- ・ 専門的指導員としての質の確保
- ・ 指導員としての技術指導レベル（資格の有無等）
- ・ 勝利至上主義ではない、生徒の多様なニーズに応じた指導
- ・ 謝礼等の各種事務手続きの在り方

～地域移行～

※運営団体：市区町村の委託団体、地域クラブ等

方策①

- ・ 教員の兼業・兼職による指導

課題①

- ・ 制度構築に向けた課題（謝礼、保険加入、36 協定等の労働法制との整合性、兼業・兼職の許可基準など）
- ・ 教員の働き方改革という視点から、負担軽減に寄与するものか

方策②

- ・ 地域団体による地域クラブ活動への移行

課題②

- ・ 受け皿としての体制整備（事務局機能、指導者としての人員確保など）
- ・ コーディネーターの配置（各主体との連絡調整を担う役割）
- ・ 補助金交付の在り方
- ・ 平日と休日の指導の一貫性の担保

方策③

- ・ 民間事業者への委託による指導員派遣

課題③

- ・ 委託経費の予算・財源確保（国や都の補助が期待できない。）
⇒事業継続の在り方
- ・ 単年度ではなく複数年度での予算措置が必要
- ・ 委託契約更新の際、事業者の違いにより指導方針が異なる可能性
- ・ 平日と休日の指導の一貫性の担保